

17/3 月期 2Q 決算説明資料

eGuarantee

2016 年 11 月 18 日

本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。

これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

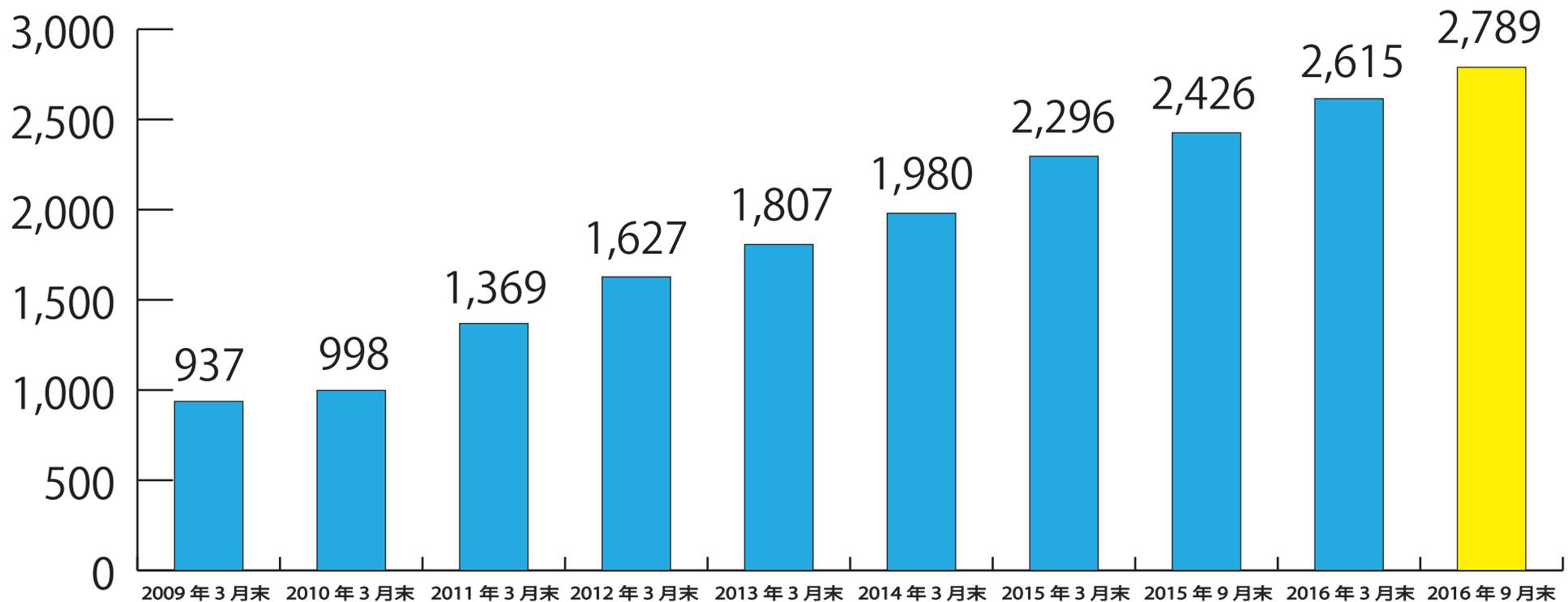
また、本資料に記載されている当社以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

イー・ギャランティ株式会社

17/3 月期 2Q 業績概要

1. 保証残高 拡大

□倒産数の減少時期に対応したサービスの提供や与信業務のアウトソーシングニーズにあったサービスを提供し、保証残高は前期末に比べて 174 億円増加（前期末比 6.6% 増加、前年同期比 14.9% 増加）。



※(保証残高は売掛債権保証サービス及び買取債権保証サービスに係る保証債務を合計したもの)

2. 連結損益計算書

- 顧客ニーズに合ったサービスを提供したことにより新規顧客を獲得し、契約数が増加した結果、売上高は前年同期比 2.8%増加。
- 足元の倒産件数の減少を背景とした信用コストの低下により原価率が好転し、営業利益・経常利益・は前年同期比それぞれ 14.9%、15.4%増加。

単位=百万円
比率=%

	16/3 月期 2Q	構成比	17/3 月期 2Q	構成比	増減	増減率
売上高	2,180	100.0	2,242	100.0	61	2.8
売上総利益	1,656	76.0	1,836	81.9	180	10.9
営業利益	876	40.2	1,006	44.9	130	14.9
経常利益	887	40.7	1,024	45.7	137	15.4
当期純利益	553	25.4	612	27.3	59	10.7

3. 対期初予想比

- 契約数の増加により、順調に保証残高を積み上げることができたものの、企業倒産件数の減少に伴い保証料率が低下した結果、売上高達成率は97.5%となった。
- 一方、企業倒産件数の減少に伴う信用コストの低下により利益率が上昇し、営業利益・経常利益・当期利益はいずれも期初予想を上回った。

単位=百万円
比率=%

	17/3 月期 2Q (期初予想)	構成比	17/3 月期 2Q (実績)	構成比	増減	達成率
売上高	2,300	100.0	2,242	100.0	△58	97.5
営業利益	1,000	43.5	1,006	44.9	6	100.6
経常利益	1,020	44.3	1,024	45.7	4	100.4
当期純利益	610	26.5	612	27.3	2	100.3

4. 連結貸借対照表

単位＝百万円
比率＝%

資産の部				
	16/3 期末	構成比	17/3 月期 2Q	構成比
流動資産	7,443	69.9	7,689	72.5
現預金	5,403	50.8	4,609	43.4
前払費用	1,264	11.9	1,937	18.3
繰延税金資産	159	1.5	159	1.5
その他	617	5.8	984	9.3
固定資産	3,202	30.1	2,923	27.5
資産合計	10,645	100.0	10,612	100.0

負債の部				
	16/3 期末	構成比	17/3 月期 2Q	構成比
流動負債	3,389	31.8	3,131	29.5
保証履行引当金	297	2.8	186	1.8
前受金	2,233	21.0	2,126	20.0
その他	859	8.0	818	7.7
固定負債	146	1.4	115	1.1
長期借入金	31	0.3	0	0.0
その他	115	1.1	115	1.1
負債合計	3,536	33.2	3,246	30.6
純資産の部				
株主資本	6,031	56.7	6,295	59.3
資本金	1,481	13.9	1,481	14.0
資本剰余金	891	8.4	891	8.4
利益剰余金	3,905	36.7	4,165	39.3
自己株式	△246	△2.3	△242	△2.3
新株予約権	27	0.3	34	0.3
非支配株主持分	1,050	9.9	1,036	9.8
純資産合計	7,109	66.8	7,366	69.4
負債純資産合計	10,645	100.0	10,612	100.0

5. 今期の連結業績見通し

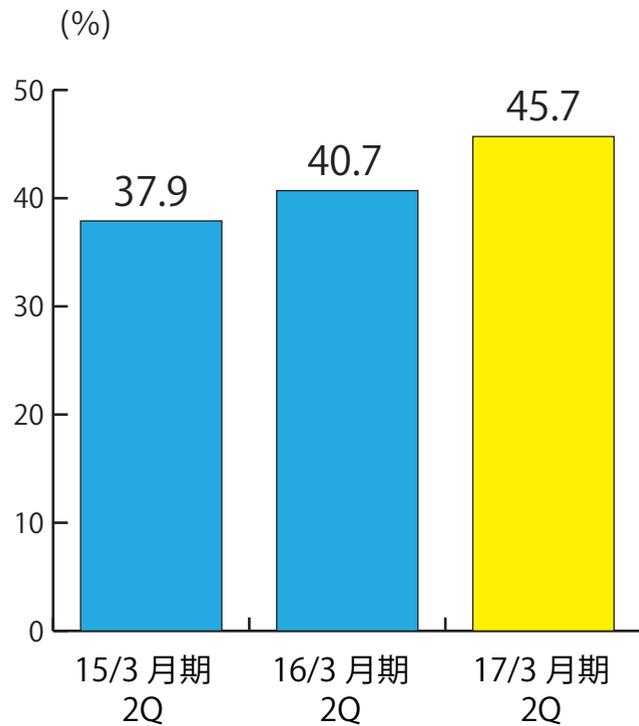
□海外経済の不確実性の高まりが影響し、我が国の景気先行きについては依然として不透明な状況が続いているものの、第2四半期連結累計期間は営業利益・経常利益・当期利益はいずれも概ね期初予想通りとなっており、足元の企業倒産件数についても大きな変動は見られないことから、通期業績予想は変更せず。

単位=百万円
比率=%

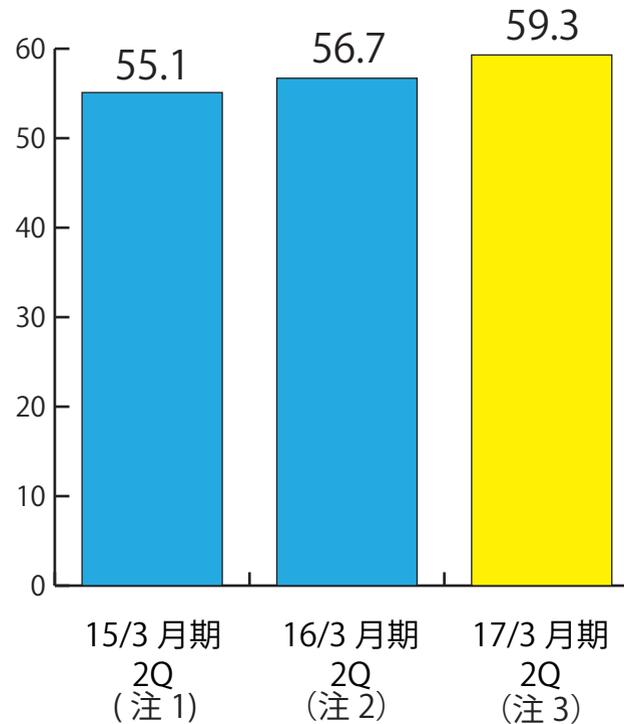
	17/3 月期 2Q (実績)	17/3 月期 (予想)	達成率
売上高	2,242	5,000	44.8
営業利益	1,006	2,050	49.1
経常利益	1,024	2,150	47.6
当期純利益	612	1,280	47.8

6. 主要な経営指標

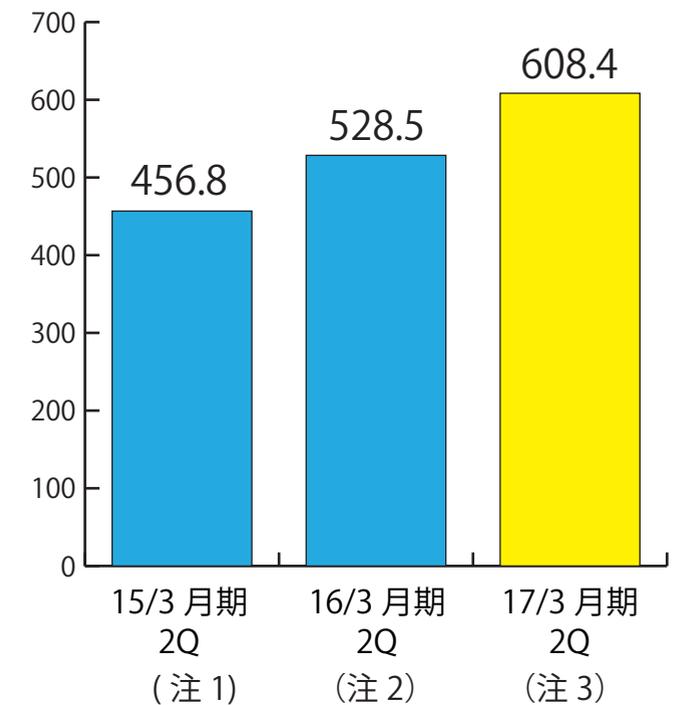
売上高経常利益率



自己資本比率



1株当たり純資産



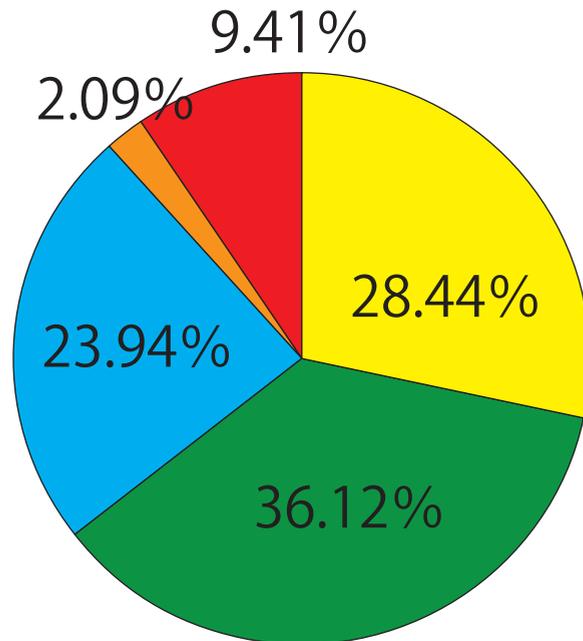
(注1)「従業員持株会支援信託E S O P」が保有する当社株式 258 百万円を自己株式として控除しております。

(注2)「従業員持株会支援信託E S O P」が保有する当社株式 249 百万円を自己株式として控除しております。

(注3)「従業員持株会支援信託E S O P」が保有する当社株式 242 百万円を自己株式として控除しております。

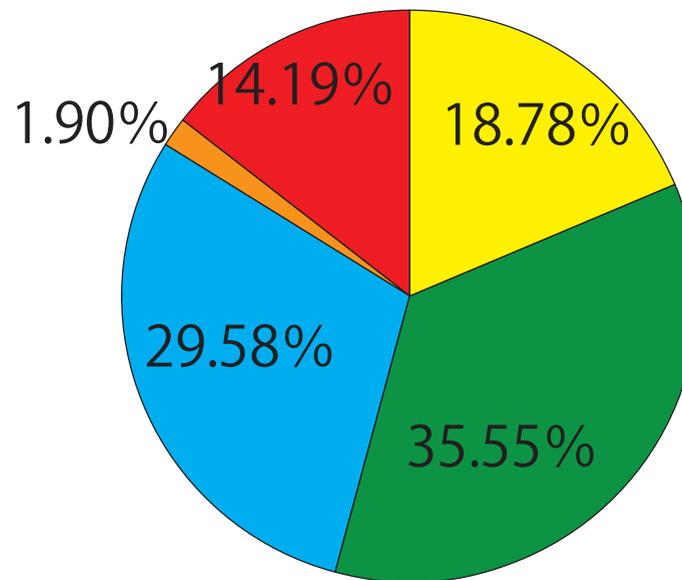
7. 株主別分布状況

15年3月期



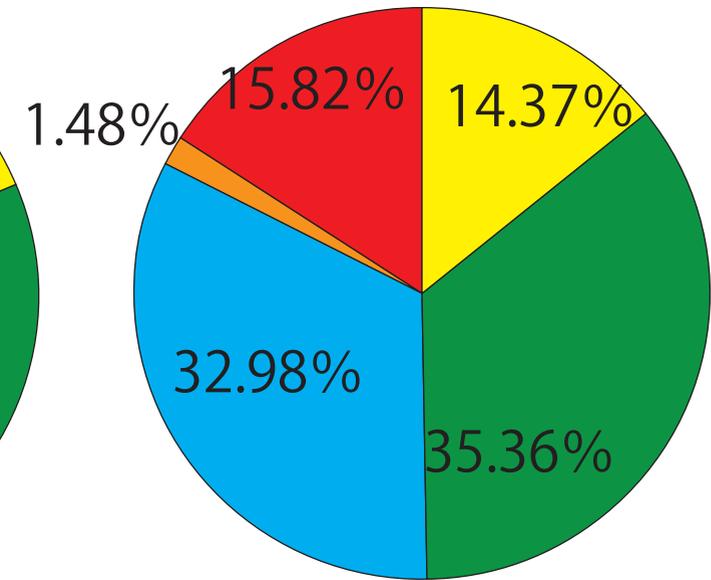
発行済株式数
10,236 千株

16年3月期



発行済株式数
10,275 千株

17年3月期2Q

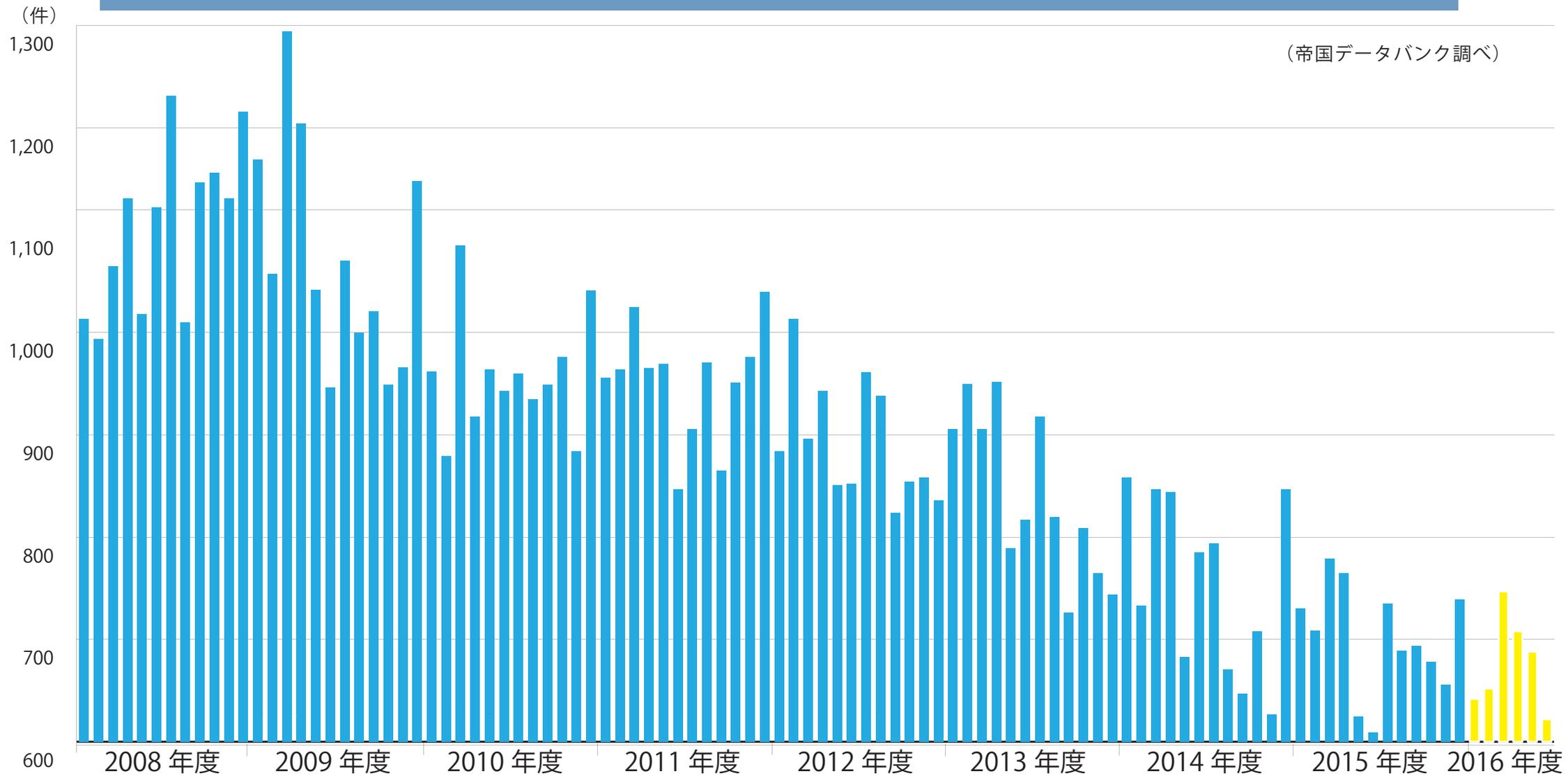


発行済株式数
10,346 千株

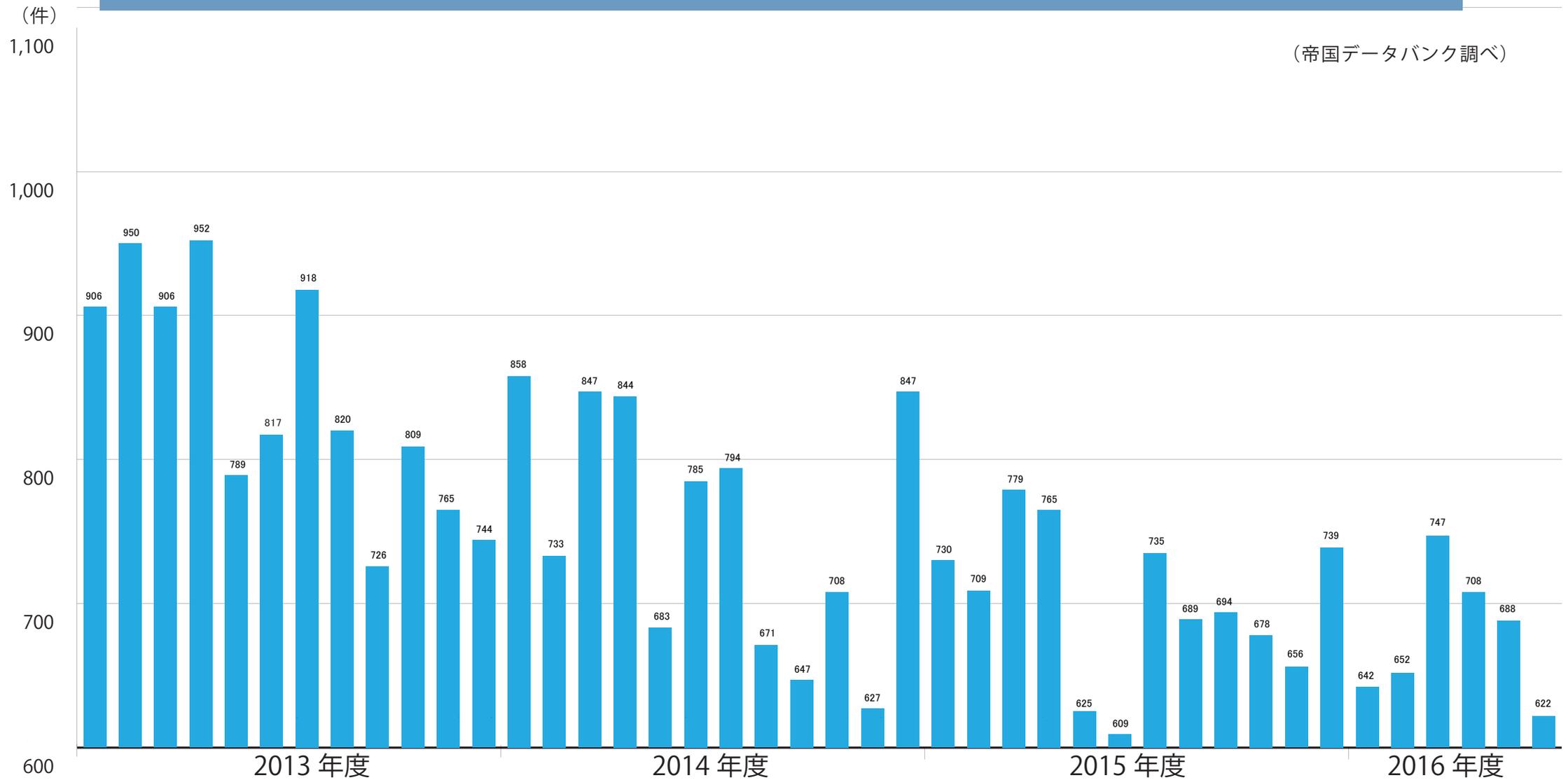
個人その他 金融機関 国内法人 証券会社 外国人

17/3 月期の重点施策および進捗状況

全国倒産件数の推移①（月次件数）



全国倒産件数の推移②（月次件数）



17/3 月期の取り組み（再掲）

外部環境

政府による各種政策を背景に企業収益や雇用情勢などが改善し、景気は緩やかに回復していくことが想定される。ただし、中国をはじめとする新興国経済の減速に加え、年明け以降の円高進行による企業業績の悪化懸念が強まり、倒産増加への不安はいまだ存在する。

基本方針

倒産動向や経済環境の変化を注視しながら、積極的なリスク引受けを展開する。一方で、前期同様に中長期的な信用リスクに対しては慎重なリスク判断を継続したリスク受託を展開する。また、顧客ニーズに合った商品を開発・提案するとともに、輸出債権に対するリスク受託基盤の整備に取り組み、保証事業の裾野の拡大を図る。

17/3 月期 重点施策（再掲）

1. 営業資源の増強
2. 商品ラインナップの拡充
3. リスク受託力の強化

17/3 月期 重点施策①

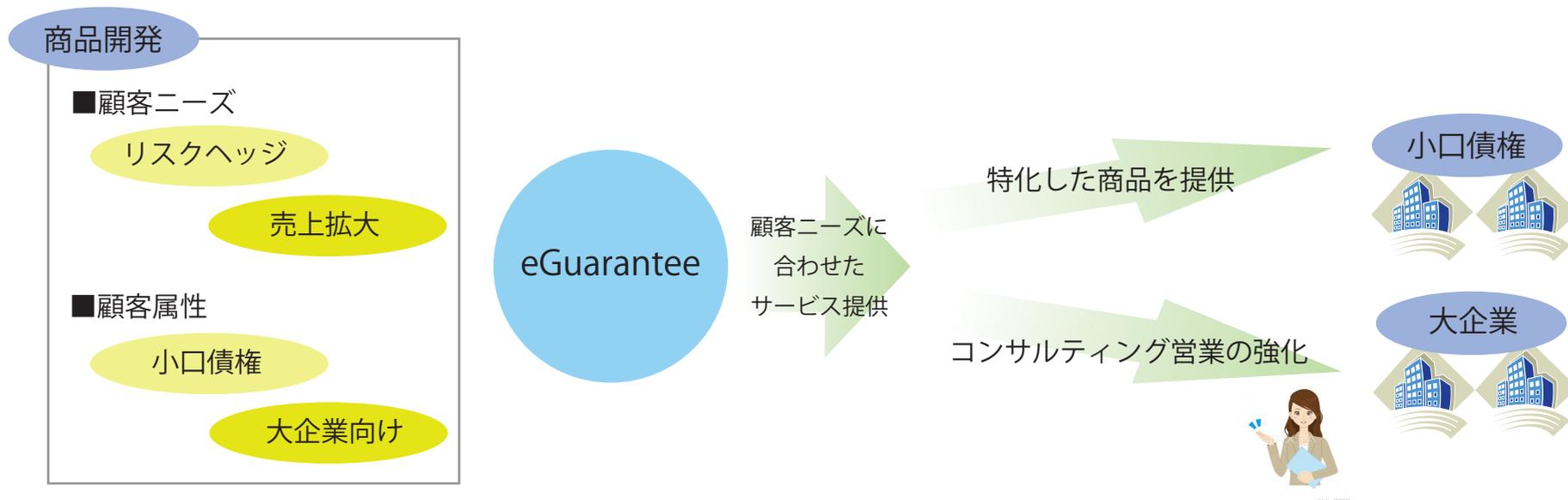
営業資源の増強

契約数の増加に対応すべく、教育研修を一部実施するとともに、より効果を出すために研修プログラムの設定を実施した。また、ITの有効活用を図るための仕組みを整備した。



17/3 月期 重点施策② 商品ラインナップの拡充

リスクヘッジとしての商品だけでなく、企業倒産数の減少時期に対応したサービスの提供や与信業務のアウトソーシングニーズに合ったサービスを提供すべく、大企業を中心にコンサルティング営業を展開した。



17/3 月期下期の重点施策

営業資源の増強

設定した研修プログラムに基づいた教育研修を実施することで、営業資源の増強を図る。

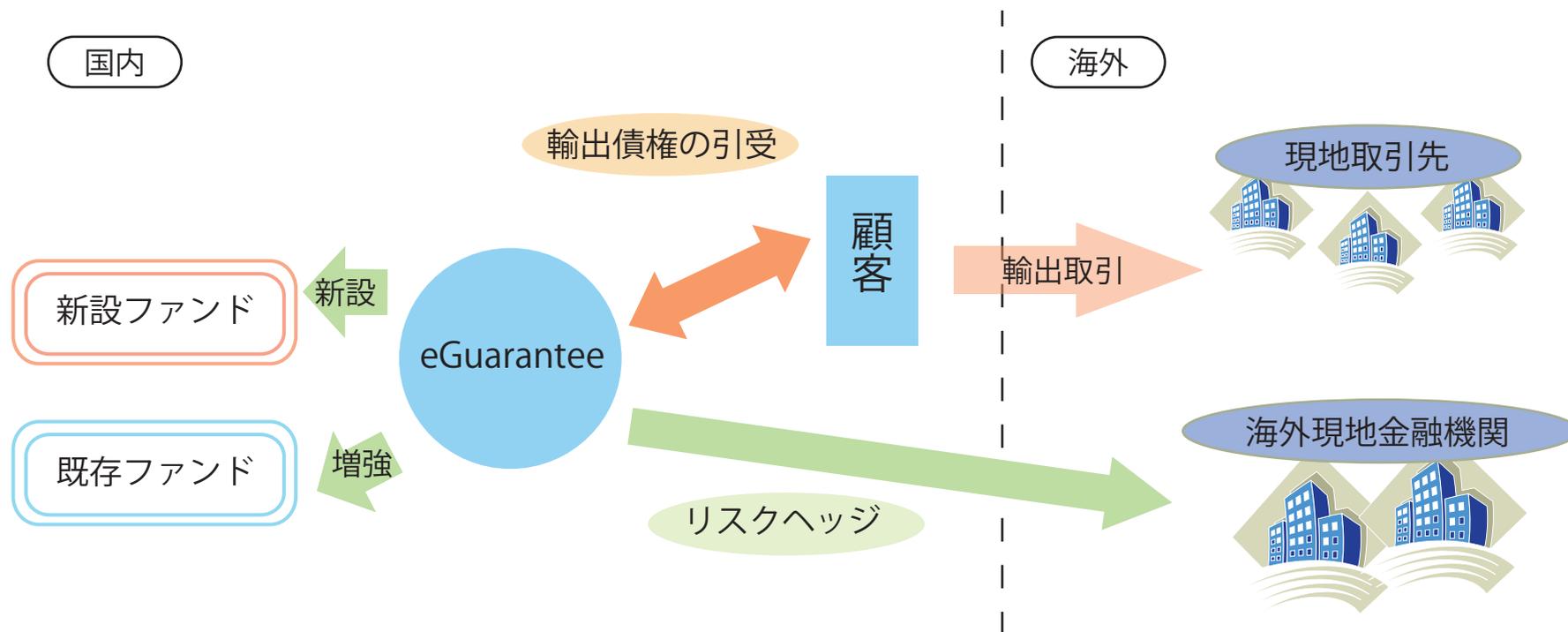
商品ラインナップの 拡充

顧客の企業規模や業界に応じた商品を提供すべく、特定の業界向けの商品開発に取り組む。

17/3 月期下期の重点施策

リスク受託力の強化

中国・韓国以外の東南アジア地域において提携先金融機関の拡大や関係強化に取り組み、輸出債権保証のリスク受託基盤を整備する。また、今後の保証残高拡大に備えるべく、ファンドの増強に取り組む。



本資料に関するお問い合わせ先
イー・ギャランティ株式会社 経営管理部
03-6327-3651